

買い替えの場合

- 日立品** → 現在使用のポンプの型式を**日立ポンプ機種変遷表**で照らし合わせ、最新型のモデルを選定します。
- 他社品** → ポンプの種類(出力、電源など)で、**日立ポンプ仕様一覧表**より類似のものを選定します。

新規の場合

以下の条件を確認し、適した機種を選定します。

1. 使用目的

自動式か非自動式かを選びます。

自動 → 一般家庭の給水用

非自動 → 長時間の連続運転、一時に多量の水を使用。

※非自動式ポンプのON-OFFは、手動、または相手機器との連動、制御リレーなどで行ってください。

2. 吸上高さ

ポンプの種類を選びます。

右下のポンプ配管例では、吸上高さが
 $5\text{m} + (\text{吸込管全長} \times 0.1^{\text{注1}}) = 5.8\text{m}$

浅井戸用ポンプ、もしくは浅深両用ポンプ(浅井戸配管)を選びます。

※運転中の水位変化、湯水期の水位低下を考慮に入れてください。

注1 配管抵抗です。

3. 押し高さ

右のポンプ配管例では、押し上げ高さが
 $3\text{m} + (\text{吐出管全長} \times 0.1^{\text{注2}}) = 4.5\text{m} < 5\text{m}$

日立ポンプ機種選定早見表より押し高さ5m以上のものを選びます。

注2 配管抵抗です。ヘッダー配管の場合は0.15を目安としてください。

4. 使用水量

水栓の数、特に2個以上の水栓を同時に使用する時の水量を考慮してください。

(同時使用水栓個数×10L/分がおよその目安です)

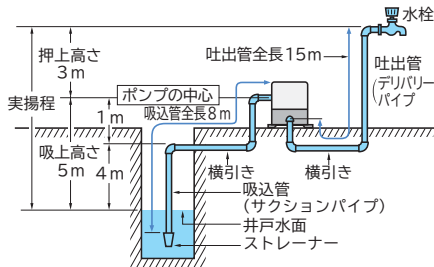
※同時使用水栓個数とポンプの関係の目安を**日立ポンプ機種選定早見表**に表します。一戸の場合、たとえば台所、手洗い、トイレ、風呂、庭など5個の水栓中、同時に使用する水栓は2個程度です。

5. 電源

単相100Vか、三相200Vかを選びます。

一般家庭用には単相100V、動力電源が引き込まれているところでは三相200Vをお選びください。

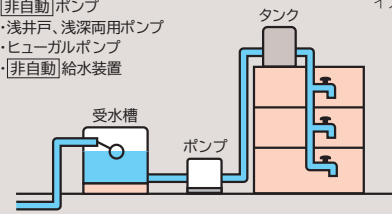
ポンプ配管例



イメージ図

高架タンクへの給水用

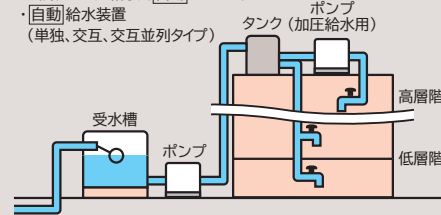
- [非自動]ポンプ
 - ・浅井戸、浅深両用ポンプ
 - ・ヒューガルポンプ
 - ・[非自動]給水装置



※ポンプの水源は、受水槽(水道水)、地下水など。
 ※高架タンク等の液面リレーとの連動で、ポンプのON-OFF制御。

高層階の加圧給水用

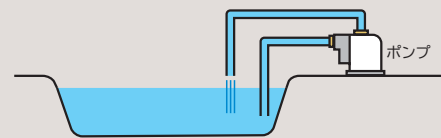
- 加圧給水装置
 - ・浅井戸・加圧給水用[自動]ブラダ式ポンプ
 - ・[自動]給水装置 (単独、交互、交互並列タイプ)



※高架タンク給水等で、高層階の水圧不足解消用として使用。

池水循環

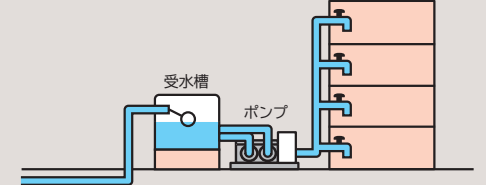
- [非自動]ヒルジポンプ



※連続昼夜運転の場合は、消耗部品(メカニカルシールなど)の定期交換(4ヵ月程度)が必要です。

ビル等への直送給水

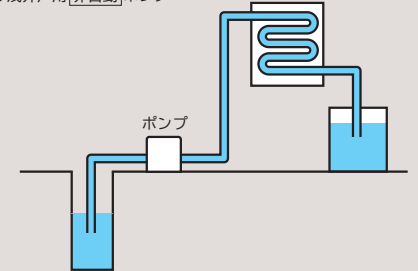
- [自動]給水装置
 - ・単独、交互、交互並列タイプ



※水道メーターを設置する場合は水道局の認定が必要となります。(設置時、最寄りの水道局にご確認ください。)

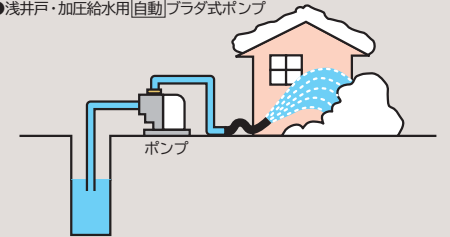
冷却水の圧送

- 浅井戸用[非自動]ポンプ



融雪・農事・池水給水用

- [非自動]ヒューガルポンプ
- 浅井戸用[非自動]ポンプ
- 浅井戸・加圧給水用[自動]ブラダ式ポンプ



井戸揚水用ポンプ型式の見方

ポンプの種類

W: 浅井戸用
 C: 浅深両用
 D: 深井戸用

電源の種類

P: 単相(100V)
 K: 三相(200V)

ポンプの方式

T: 自動式
 M: 自動式(ミニタンク付)
 なし: 非自動式

シリーズ名

W T - P 200 X

モーターの出力